

公園緑地ストック活用基礎調査委託その4の報告について

まちづくり環境委員会
令和3年7月15日

都市基盤整備部 資料5番

所管 公園課

委託概要と目的

区立の公園緑地は、約6割以上が1,000㎡にも満たない小規模な公園である。近年の区民のライフスタイルの変化、公園利用やニーズの多様化の流れの中で、様々な課題を抱えている。そこで、区では今後の公園のあり方を探るため、公園利用にかかわる実態調査、アンケート調査、公園のさらなる利活用に向けた基礎調査を実施してきた。

本委託では、これまでの調査結果で具体的な提案のあった「健康増進」と「子育て支援」の視点で、既存公園の利活用を推進することとした。計画は、以下の2事業である。

①いきいき健康公園づくり：公園実態調査をもとに、区内でモデルコースとなる4コース（鶯の木地区、仲池上・久が原地区、大森東地区、東糀谷地区）を設定した。

②子育てひろば公園づくり：区内3地区（大森駅周辺、蒲田駅周辺、池上駅周辺）、拠点公園4箇所（平和の森公園、本門寺公園、東調布公園、萩中公園）を設定した。

①②両事業において、一部先行して今年度から整備事業を開始する予定である。

◎整備計画(案) ◆ウォーキングコースの設定(4地区)



※大森東地区、東糀谷地区は、健康遊具の設置種類について検討中。
※遊具写真はイメージ、記載した遊具の種類は一例

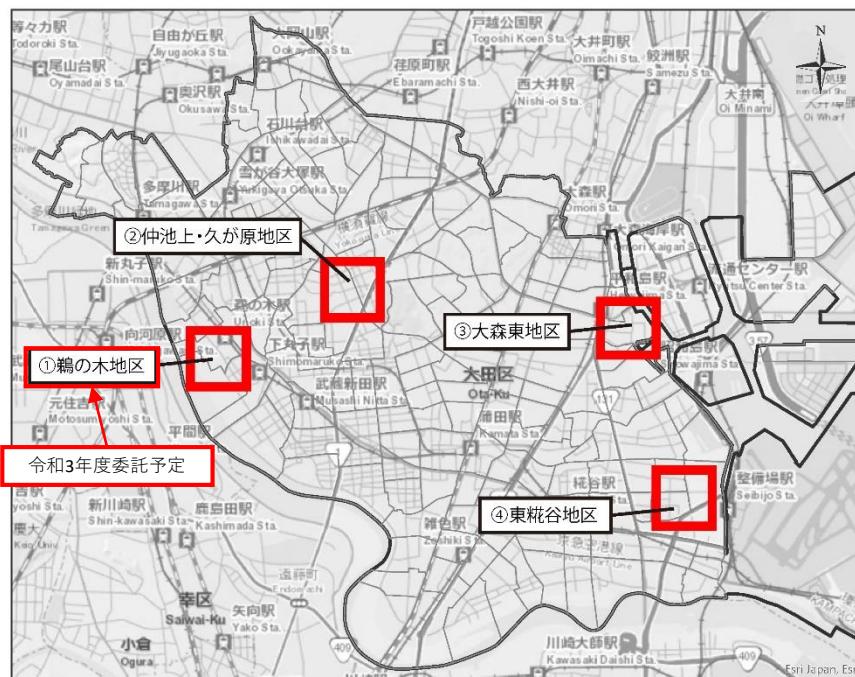
※歩数、所用時間、消費カロリー：東京都福祉保健局「TOKYO WALKING MAP」における「時速4km、ウォーキング10分=30kcal、1歩=70cm、体重60kg」を用いて算出

①いきいき健康公園づくり

◎整備方針

- ▶整備方針1 小規模公園や広場を一体的に連携する健康運動ネットワークを形成する。
- ▶整備方針2 ウォーキング・体操等の活動をきっかけとした多世代の交流空間を創出する。
- ▶整備方針3 周辺施設等の魅力を生かしたコースとし、ウォーキングを考慮した休憩施設を設置する。

◎対象地区位置



②子育てひろば公園づくり

◎整備方針

- ▶ **整備方針 1**
幼児向け遊具や児童向け遊具を設置した子育て支援施設を整備し、保育所代替遊技場としての機能を充実させる。
- ▶ **整備方針 2**
多種多様な個性をもつすべての子どもたちが一緒に遊べる、ユニバーサルデザインの遊び場を整備する。
- ▶ **整備方針 3**
イベント等を開催する空間を設置し、多世代の利用者が交流できる空間を創出する。
- ▶ **整備方針 4**
公営住宅の建て替え、公共施設の再編、再開発事業などのまちづくりと連携して空間確保に努める。

整備例

※遊具、施設写真はイメージ



◎対象公園位置

